

栽培時の注意点

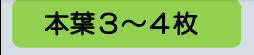
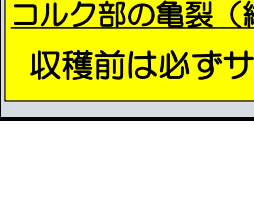
- ・定植後の灌水は必ず！（定植後1週間程度）
- ・3月の霜害対策は必ず！（2重被覆など）



品種:くり大将
定植本数:740本／10a
栽植密度:1本仕立て
畝間2.5～3m×株間45cm

施肥基準例①
○基肥（10aあたり）
完熟堆肥 2,000kg
菜種油粕 100kg
五島の源 100kg
BB48 80kg
○追肥
BBNK2号 20kg×2～3回

施肥基準例②
○基肥（10aあたり）
完熟堆肥 2,000kg
菜種油粕 100kg
五島の源 100kg
ぴったしくんレコ 100kg
○追肥
BBNK2号 20kg×2～3回

月	旬	生育	作業	作業内容
年内			・堆肥散布 ・耕うん ・麦播種	完熟堆肥を2,000kg/10a散布し、深耕を行う 防風対策として年内（11月～12月）に畝間に麦の播種を行う
2	上		・土改剤散布 ・耕うん	・五島の源 100kg／10a ・なたね油粕 100kg／10a
	中		・肥料散布 ・畝立て ・トンネル設置	・BB48 80kg/10a トンネルは定植10日以上前に設置し地温を確保に努める
	下		定植 ・キチン酵素施用 ・液肥施用	【定植前】キチン酵素500倍液を灌注 【定植後】液肥（例：園芸アミノ500倍希釈）灌注 初期の活着を促す
3	上			定植後に乾燥する場合は適宜灌水を実施し活着を促す
	中		・脇芽除去（1回目）	脇芽が手で摘みやすいサイズになったら除去する ※初期生育が弱い場合は脇芽を残し、脇芽が20cmくらいで摘芯（発根促進、葉面積確保） ※脇芽除去の際に雄花は除去しないよう注意
	下		・誘引	誘引し、つる向き揃うように整枝Uピン等でおさえる
4	上	つる50cm	追肥1回目 ・NK2号 20kg/10a ・追肥（1回目） ・中耕・除草 ・脇芽除去（2回目）	つる先がマルチから地面に出る前に追肥 1番果着果節位までの子づるは除去する
	中		追肥2回目 ・NK2号 20kg/10a ・摘果 ・防除	1果目を10～13節を目安に着果させる 10節未満の果実は摘果する（果形の乱れ・小玉防止） ※草勢が弱い時は14～16節に着果させる
	下	1番花開花	・追肥（2回目） ・誘引	1番果がソフトボール大時に追肥 つる先が作業通路又は隣の畝まで伸びたら、つる先をUターンさせる※主枝摘芯をせず葉面積確保に努める
5	上		・皿しき	着果から2週間後、果実の色が濃い緑色に変わってきたら、皿をしき果実の腐敗を防ぐ
	中		追肥3回目 ・NK2号 20kg/10a ・追肥（3回目）	草勢の低下が見られる場合は3回の追肥を行う（2・3番果充実のため） ※つる先が細い、葉が小さい、葉色が薄い場合に実施。施用は作業通路等に行う。
	下		・日焼け対策	果実に日が直接当たる場合はクラフトテープや新聞紙で日よけをする
6	上		収穫 	鉄コンに詰め込む際には、下2段は並べるようにする（通気性が良くなり腐敗果対策になる）
	中			
6	下			

月	旬	定期防除	臨期防除
2	上	☆初期生育回復・生育促進対策☆  【キチン酵素】 主な効果:根張り強化、代謝(細胞)活性 使用方法:①定植時に500倍液を十分に灌水。 ②薬剤散布や液肥散布時にキチン酵素を1,000倍希釈で混用。 10aの1回当たりの散布費用:約800円 ※1,000倍希釈で200L散布の場合	
	中		
	下		
3	上	【植付時】 ダイアジノン粒剤3 6~9kg/10a 土壌混和 ウリハムシ幼虫、ケラ、ネキリムシ類、コガネムシ類幼虫、タネバエ	【キボシマルトビムシ発生】 希釈倍率 使用時期 ①スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 収穫前日まで ※登録はアブラムシ類 ②ダイアジノン水和剤34 600倍 収穫21日前まで ※前作アブラナ科作物(ブロッコリー、タカナ)栽培圃場は注意
	中		
	下		
4	上	【1番花開花前】 コサイド3,000 2,000倍希釈 果実斑点細菌病	【アブラムシ発生時】 希釈倍率 使用時期 ①モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍 ~4,000倍 収穫前日まで ②コルト顆粒水和剤 4,000倍 収穫前日まで 【ウリハムシ発生時】 希釈倍率 使用時期 ①モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍 ~4,000 収穫前日まで
	中		
	下		
5	上	【1番花開花20日後】 アフェットフロアブル 2,000倍希釈 うどんこ病、つる枯病	【ハダニ発生時】 希釈倍率 使用時期 ①カネマイトフロアブル 1,000倍 収穫7日前 ②モベントフロアブル 2,000倍 収穫7日前 ③ニツソラン水和剤 2,000倍 収穫前日まで
	中		
	下		
6	上	【収穫7~10日前】 プロポーズ顆粒水和剤 1,000倍希釈 うどんこ病、疫病、べと病 ※使用は収穫7日前まで	【腐敗果対策】 希釈倍率 使用時期 ①ジマンダイセン水和剤 (疫病・つる枯病他) 600倍 収穫21日前まで ②アリエッティ水和剤 (疫病・べと病) 400倍 ~800倍 収穫前日まで
	中		

かぼちゃの主な病害虫一覧

①うどんこ病



②疫病



③べと病



④果実斑点細菌病



⑤つる枯病



⑥ウリハムシ



⑦アブラムシ類



⑧ハダニ類



⑨キボシマルトビムシ



※農薬を使用する前には、必ずラベルで登録内容を確認しましょう。

※交配でミツバチを放飼する場合は、ミツバチへの農薬の影響を確認しましょう。

